

第三回 静岡県言語聴覚障害研究会 2024年9月25日

テーマ 構音指導の実際

ご参加の先生方には以下のご準備をお願いします。

① 別紙 構音器官模式図を見本を見ずに（ブラインドで）描けるようにして  
ること。

② ご自身が描いた模式図に以下の音がどの位置にあるかを見本を見ずに入力  
できること。

/p/ /b/ /m/ /t/ /d/ /n/ /s/ /z/ /ts/ /tʃ/ /dʒ/ /f/ /k/ /g/ /ŋ/

③ 持ち物

A4 白紙（①②を実習していただきます、北野が机間指導いたします）

手鏡

ストロー

水（水筒に水が望ましいですが、ペットボトルでも OK）

ステンレス製のスプーンまたはナイフ（息の曇りをキャッチできるものなら

何でも良いです、ご持参の手鏡でキャッチできればそれで OK）

④ ご自身でミラーを見ながら最大限の変顔を練習してること。

- 舌、口唇、頬、眼球など全て使って、多様な動きを確認する事
- 普段使わない顔面筋を最大限に使用する事
- 特に開口度については、顎が外れない程度に、どこまで開口できるか  
ご自身で確認する事
- 口蓋垂をしっかりと見てること
- 軟口蓋（口蓋垂）をミラーを見ながら上げ下げできること  
→ 挙上＝ア発声時      下降＝開口安静時

